

CyberLink  
PowerDVD 19

ユーザーガイド



# 著作権

All rights reserved.

法律の認める範囲において、PowerDVDは情報、サービス、またはPowerDVDに関連して提供される製品についていかなる保証も行わないこと、商品性、特定目的への適合性、プライバシー保護の見込み、非侵害性についていかなる暗示的保証も行わないことを含め、明示または暗示の有無に関わらず、いかなる保証も行わず現状のままで提供されます。

このソフトウェアをご使用になると、お客様はCyberLinkがこのソフトウェアまたはこのパッケージに含まれる素材を使用した結果生じる直接的、間接的、結果的損失について一切責任を負わないことに同意したものとみなされます。  
ここに記載する条件は、台湾の法律により管理および解釈されるものとします。

PowerDVDは本書に記載されるその他の会社名および製品名と同じく登録商標であり、識別を目的としてのみ記載されており、その所有権は各社が所有しています。

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Dolby Audio, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright 1995-2015 Dolby Laboratories. All rights reserved.

Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,003,467; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and DTS Digital Surround are registered trademarks and the DTS logos, Symbol and DTS 96/24 are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS is a registered trademark and the DTS logos, Symbol, DTS-HD and DTS-HD Master Audio are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

## 本社

**所在地**

CyberLink Corporation  
15F., No. 100, Minquan Rd., Xindian Dist.  
New Taipei City 231, Taiwan (R.O.C.)  
<https://www.cyberlink.com>

**Web サイト**

**TEL**

886-2-8667-1298

**FAX**

886-2-8667-1385

Copyright © 2019 CyberLink Corporation. All rights reserved.

# 目次

第 1 章:	1	紹介
	1	PowerDVD TV モード
	8	対応するファイルおよびディスク形式
第 2 章:	10	PowerDVD メディア ライブラリー
		メディア
	10	ライブラリーにメディアを読み込む
第 3 章:	17	PowerDVD でメディアを再生する
	17	シリーズ動画を再生する
	20	ムービー ファイルを再生する
	22	ムービー ディスクを再生する
	24	動画を再生する
	27	画像を表示する
	29	音楽を再生する
		マイ
	30	コンピューターのメディアを再生する
		サイバーリンク
	31	クラウド中のメディアを再生する
	32	YouTube の動画を再生する
	34	Vimeo の動画を再生する
第 4 章:	37	再生機能
	37	TrueTheater エンハンスメント
	38	360° メディアの再生
	43	3D 再生
	44	外部/埋め込み字幕
第 5 章:	46	PowerDVD の設定
	46	全般の設定

	48	動画の設定
	49	音声の設定
	53	ブルーレイ ディスクの設定
	54	3D の設定
	55	PowerDVD Remote
第 6 章:	56	他のディスプレイ/デバイスでメディアを再生する (再生先) ストリーミング
	57	デバイスにメディアをキャストする
第 7 章:	62	PowerDVD のホットキー
第 8 章:	66	ライセンスおよび著作権情報
第 9 章:	73	テクニカル サポート
	73	テクニカル サポートにお問い合わせになる前に
	74	Web サポート
	75	ヘルプ リソース

## 第 1 章: 紹介

CyberLink PowerDVD の TV モードへようこそ。

注:当ガイドは参考資料です。また、内容および対応するプログラムは予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

## PowerDVD TV モード

TV モードを開くと、次のように表示されます。



A - メディアパネル、B - VR モードを開く、C - PC モードに切り替え、D- 最近再生/追加したメディア

**注:**CyberLink PowerDVD の [TV モード] では、一部の機能はご利用いただけません。お探しの機能が見つからない場合、[PC モード] に切り替えてください。

## メディア パネル

メディア パネルでは、再生するメディアの種類を選択します。メディア パネルでは、ムービー ディスクを再生したり、メディア ライブラリー中の画像、動画、ムービー ファイル、音楽にアクセスすることができます。

**注:**一回目の起動でメディア ライブラリーにメディアを読み込まなかった場合、**[今すぐ追加]** ボタンを選択して読み込みを行います。詳細は、[「メディア ライブラリーにメディアを読み込む」](#) を参照してください。**[マイ コンピューター]** のメディア パネル オプションで、コンピューター中のメディアにアクセスすることもできます。

メディア パネルから、サイバーリンク クラウド\* に保存されるメディア ファイルにアクセスしたり、YouTube の動画を再生することもできます。

**注:**\* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

メディア パネルでは次の操作が行えます。

- PowerDVD Remote アプリの使用。詳細は、[「PowerDVD Remote の設定」](#) を参照してください。
- コンピューターに接続されるリモコン (互換性のあるもの) の使用。
- タブレット/タッチ スクリーンでタッチ ジェスチャーを使用。左右にスワイプし、オプションをタップして選択します。
- キーボードの矢印キーを使用して、オプションを参照。[Enter] キーを押して、オプションを選択します。

- マウスのスクロール ホイールを使用して、オプションを参照。オプションをクリックして選択します。

## シリーズ動画

[**シリーズ動画**] セクションでは、あらかじめ連番を含んだ名前の動画ファイルを再生することができます。詳細は、[「シリーズ動画を再生する」](#)を参照してください。

## ムービー

[**ムービー**] を選択すると、メディア ライブラリー中のムービー ファイルにアクセスできます。ムービー ファイルは、コンピューターのハードドライブに保存される DVD/ブルーレイ ディスク\* フォルダー、DVD/ブルーレイ ディスク\* ISO ファイル、個々の動画ファイル (PVR で録画されたムービー ファイル) です。

**注:**\* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

ムービー ファイル再生に関する詳細は、[「ムービー ファイルを再生する」](#)を参照してください。

## BD/DVD

[**BD/DVD**] を選択すると、ビデオ ディスクを再生できます。ディスク再生に関する詳細は、[「ムービー ディスクを再生する」](#)を参照してください。

## 動画

[**動画**] を選択すると、メディア ライブラリー中の動画を再生することができます。これらの動画には、[ムービー] ライブラリーに入れないホーム ムービーや他のショート クリップも含まれます。動画ファイルの再生に関する詳細は、[「動画を再生する」](#)を参照してください。

## 画像

[**画像**] を選択すると、メディア ライブラリー中の画像を表示することができます。スライドショーに入れて表示することもできます。画像機能に関する詳細は、[「画像を表示する」](#) を参照してください。

## 音楽

[**音楽**] オプションを選択すると、メディア ライブラリーの音楽を再生することができます。ミュージック ライブラリー中の音声は、音楽であるとは限らず、CyberLink PowerDVD に対応するすべての音声形式が含まれます。

音楽再生機能に関する詳細は、[「音楽を再生する」](#) を参照してください。

## マイ コンピューター

[**マイ コンピューター**] を選択すると、コンピューターのハード ドライブ、接続された USB デバイス、ネットワーク ドライブなどのすべてのフォルダーを表示することができます。このタブには Windows エクスプローラーの [**コンピューター**] の内容 (デフォルトの Windows ライブラリー ショートカットを含む) が表示されます。ここでは、メディア ライブラリーに読み込まれていないメディアにアクセス、再生することができます。

**注:**CyberLink PowerDVD は、Dropbox、Google ドライブ、OneDrive クラウドストレージ サービスに対応しています。クラウドストレージ サービスのデスクトップ アプリがインストール、実行、同期されていることを確認して、PC モードの UI の基本設定で有効にしてください。

## サイバーリンク クラウド

[**サイバーリンク クラウド**]\* オプションを選択すると、CyberLink のクラウド サービスに保存されたメディアを表示することができます。サイバーリンク クラウド



ドを使ってメディアをバックアップすることで、どこからでもアクセスできるようになります。また、CyberLink Power Media Player を実行するポータブルデバイスからアップロードされたメディアにもアクセスできます。

**注:**\* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

サイバーリンク クラウドのメディアをコンピューターにストリーミングして、CyberLink PowerDVD で再生することができます。詳細は、[「サイバーリンク クラウドに保存されるメディアを再生する」](#) を参照してください。

## YouTube

[YouTube] を選択すると、YouTube の動画を再生することができます。

**注:**\* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

詳細は、[「YouTube の動画を再生する」](#) を参照してください。

## Vimeo

[Vimeo] を選択すると、Vimeo の動画を再生することができます。

**注:**\* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

詳細は、[「Vimeo の動画を再生する」](#) を参照してください。

## 設定

[設定] を選択すると、CyberLink PowerDVD の TV モードを設定することができます。詳細は、[「PowerDVD の設定」](#) を参照してください。


# VR モード (バーチャル リアリティ)

対応する VR (バーチャル リアリティ) ヘッドセットをお持ちの場合、VR モードで再生することができます。

## VR モードを設定、開始する

VR モードを開始する前に、次の内容を確認してください。

- VR ヘッドセットがコンピューターに接続されている。
- VR ヘッドセット メーカーからの必要なツール、プログラムがインストールされている。
- VR ヘッドセットがオンになっている (必要な場合)。

VR モードを開始するには、 ボタンをクリックして **[VR モードの開始]** を選択します。VR ヘッドセットを装着して、VR モードを開きます。

**注:**メディア ライブラリーからメディアを選択して、**[再生先]** メニューの **[VR ヘッドセット]** を選択して、VR モードを開始することもできます。

VR ヘッドセットを着用しながら、同時に CyberLink PowerDVD のメディア ウィンドウにもコンテンツを表示するには、**[PowerDVD のウィンドウにも VR 映像を表示]** オプションを選択します。

**注:**VR モードのコントロールおよびヒントは、VR ヘッドセットを装着時に左側に表示されます。メディアを再生中に、トリガーを引く/トラックパッドをクリックすると (お持ちの VR ヘッドセットによって仕様が異なります)、プレーヤー コントロールおよびヒントが表示されます。

## VR モードでメディアを再生する

VR モードで 360° 動画、画像、YouTube 動画を再生することができます。360° でないメディアを再生すると、VR の環境で、目の前に大きなバーチャルスクリーンが表示されます。


**注:**VR モードのコントロールおよびヒントは、VR ヘッドセットを装着時に左側に表示されます。メディアを再生中に、トリガーを引く/トラックパッドをクリックすると (お持ちの VR ヘッドセットによって仕様が異なります)、プレーヤー コントロールおよびヒントが表示されます。

メディア ライブラリー中のほとんどのメディア (音楽や YouTube の動画を含む) を VR モードで再生することができます。マイ コンピューターからハード ドライブのメディア ファイルにアクセスしたり、SteamVR からストリーミング コンテンツにアクセスすることもできます。

**注:**サイバーリンク クラウドのメディア、ホーム メディア (DLNA)、ISO ファイル、ディスク フォルダーは、VR モードに対応していません。

## PowerDVD のモードを切り替える

CyberLink PowerDVD には、PC モードと TV モードの 2 つのモードがあります。PC モードは、CyberLink PowerDVD のメイン モードで、さらに多くの機能がご利用いただけます。

PC モードに切り替えるには、タイトル バーの  ボタンをクリックします。

**注:**PC モードの機能に関する詳細は、ヘルプ ファイルを参照してください。

# 対応するファイルおよびディスク形式

CyberLink PowerDVD は、次のメディア ファイルおよびディスク形式に対応しています。

## ディスク形式

CyberLink PowerDVD が対応する光学ディスク形式は、次の通りです。

光学ディスクの種類	ファイル形式
Ultra HD ブルーレイ*	BDMV
ブルーレイ ディスク*/ブルーレイ 3D* ディスク	BDAV, BDMV
DVD	DVD-Video, AVCHD*, AVCREC*, DVD-VR, DVD+VR
CD	VCD, SVCD

## 動画ファイル形式

CyberLink PowerDVD が対応するムービー ファイル、シリーズ動画、動画は次の通りです。

264, 265\*, 26L, 3G2, 3GP, 3GP2, 3GPP, ASF, AVC, AVI, BSF\*, DIV, DIVX\*, DVR-MS, FLV, H264\*, H265\*, HEVC\*, JSV, JVT, M1V, M2P, M2T, M2TS, M2V, M4V, MK3D\*, MKV, MOD, MOV (H.264/alpha PNG\*), MP4, MP4V, MPE, MPEG, MPG, MPV, MTS, MVC\*, QT, TOD, TP, TPD, TRP, TS, TTS, VC1\*, VOB, VRO, WEBM\* (VP9+Opus) (VP9+Vorbis), WM, WMV, WTV。

## 画像ファイル形式

CyberLink PowerDVD が対応する画像形式は、次の通りです。

ARW, BMP, CR2, CRW, DCR, DNG, ERF, GIF, GIF (89a), HEIF (.HEIC)\*, JPEG, JPG, JPS\*, KDC, MEF, MPO\*, MRW, NEF, ORF, PEF, PNG, RAF, RAW, RW2, SR2, SRF, TIF, TIFF, X3F。

## 音声ファイル形式

CyberLink PowerDVD が対応する音声形式は、次の通りです。

光学ディスクの種類	ファイル形式
CD	音声、カラオケ

**音声ファイル形式:**AAC, AC3, ADTS, ALAC, AOB, APE, DSD Audio\* (DSF, DFF), DTS, FLAC, M4A, MID, MKA, MP2, MP3, MPA, OGG, RMI, WAV, WMA。

**注:**\* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

## 第 2 章:

# PowerDVD メディア ライブラリー

PowerDVD のメディア ライブラリーは、コンピューターのハード ドライブから読み込まれたムービー、シリーズ動画や他のメディア ファイルから構成されます。メディア ライブラリーにすべてのメディアが表示されるようにするには、読み込み先を設定する必要があります。メディア ライブラリーへのムービーやその他メディア ファイルの読み込みに関する詳細は、[「メディア ライブラリーにメディアを読み込む」](#) を参照してください。

## メディア ライブラリーにメディアを読み込む

一回目の起動で、コンピューターのハード ドライブと接続されたネットワーク デバイス中のムービーやその他のメディア ファイルがメディア ライブラリーに読み込まれます。ライブラリー ウィンドウにメディアが入っていない場合、**[今すぐ追加]** ボタンをクリックして、メディアを読み込むフォルダーを指定します。

メディア ライブラリーにメディアを読み込むには、次の操作を行います。

1. **[今すぐ追加]** ボタンを選択します。メディア ライブラリーの設定ウィンドウが表示されます。

**注:**ライブラリー ウィンドウにすでにメディアが入っている場合、[「全般の設定」](#) の **[メディア ライブラリーの設定]** セクションにアクセスします。

2. [設定] ウィンドウで、次のいずれかのタブを選択します。
  - [ムービー](#)
  - [シリーズ動画](#)
  - [動画/画像](#)

- [音楽](#)

3. **[OK]** を選択して、**[設定]** ウィンドウを閉じます。フォルダーがスキャンされ、対応するすべてのメディア ファイルが読み込まれます。

**注:**メディア ライブラリーにメディアを読み込まない場合は、**[マイ コンピューター]** タブからコンピューターのハード ドライブにアクセスすることができます。

## ムービー

**[ムービー]** タブを選択して、ムービー ファイルの読み込み元のフォルダーを設定します。ムービー ファイルは、コンピューターのハード ドライブおよび接続されるネットワーク デバイスに保存される DVD/ブルーレイ ディスク\*、DVD/ブルーレイ ディスク\* ISO ファイル、個々の動画ファイル (PVR で録画されたムービー ファイル) です。

## ムービー ライブラリー


ムービー ライブラリーのリストには、対応するムービー ファイルの読み込み元のフォルダーが表示されます。対応するファイル形式の一覧は、[「対応するファイルおよびディスク形式」](#) を参照してください。

**注:**これらのフォルダーに新しいメディアが入るとスキャンされ、フォルダーのメディアが追加/削除されると、メディア ライブラリーは自動的に更新されます。

ムービー ライブラリーにフォルダーを追加するには、次の操作を行います。

1. **[ムービー フォルダーの追加]** ボタンを選択します。
2. 追加するフォルダーを検索します。コンピューターのハード ドライブまたは接続されたネットワーク デバイスから選択します。
3. **[フォルダーの選択]** ボタンを選択して、リストに追加します。
4. 上の手順を繰り返して他のフォルダーを追加します。

5. **【次未満の動画を無視する】** オプションを選択して、時間 (分) を入力します。これにより短い動画は除外され、ムービー ライブラリーに追加されません。
6. メディア ライブラリーで未接続のネットワーク デバイス中のムービー ファイルを表示するには、**【未接続のメディアを再生する】** オプションを選択します。

**注:**ムービー ライブラリーからフォルダーを削除するには、リストのフォルダーの上にマウスを置いて  を選択します。

## シリーズ動画

**【シリーズ動画】** タブを選択して、シリーズ動画の読み込み元のフォルダーを設定します。シリーズ動画は、コンピューターのハード ドライブと接続されたネットワーク デバイスに保存される動画ファイルでも利用できます。

指定するフォルダーに含まれるシリーズ動画は、[メディア ライブラリー] の **【シリーズ動画】** セクションに読み込まれます。

## シリーズ動画ライブラリー

シリーズ動画ライブラリーのリストには、対応するシリーズ動画の読み込み元のフォルダーが表示されます。対応するファイル形式の一覧は、[「対応するファイルおよびディスク形式」](#) を参照してください。


**注:**これらのフォルダーに新しいメディアが入るとスキャンされ、フォルダーのメディアが追加/削除されると、メディア ライブラリーは自動的に更新されます。

シリーズ動画ライブラリーにフォルダーを追加するには、次の操作を行います。

1. **【シリーズ動画フォルダーの追加】** ボタンを選択します。
2. 追加するフォルダーを検索します。コンピューターのハード ドライブまたは接続されたネットワーク デバイスから選択します。



3. **[フォルダーの選択]** ボタンを選択して、リストに追加します。
4. 上の手順を繰り返して他のフォルダーを追加します。
5. **[次未満の動画を無視する]** オプションを選択して、時間 (分) を入力します。これにより短い動画は除外され、シリーズ動画ライブラリーに追加されません。
6. メディアライブラリーで未接続のネットワーク デバイス中のシリーズ動画を表示するには、**[未接続のメディアを再生する]** オプションを選択します。

**注:**シリーズ動画ライブラリーからフォルダーを削除するには、リストのフォルダーの上にマウスを置いて  を選択します。

## シリーズ動画を整理する

シリーズ動画はシリーズとエピソードで整理されます。シリーズ動画とフォルダー名に基づいて、自動的に並べ替えられます。シリーズ動画のファイルとフォルダー名は次のように指定してください。

- ファイルまたはファイルの親フォルダーにシリーズ動画の名前を入れます。
- "XX" はシーズン (期) の番号を示します。ファイル名を "SXX" またはファイルの親フォルダーを "Season XX" と入力します。
- "YY" はエピソード (第〜話) を示します。ファイル名を "YY" または "EYY" と入力します。

## 名前指定の例

例えば次のように命名すると、シリーズ動画ライブラリーに正確に配置されます。

最上フォルダー名	サブフォルダーの名前	ファイル名
シリーズ動画	--	The.PowerDVD.Show.S01E01.MP4,

		The.PowerDVD.Show.S01E02.MP4, The.PowerDVD.Show.S02E01.MP4, ...
シリーズ動画	The PowerDVD Show	S01E01.MP4, S01E02.MP4, S02E01.MP4, ...
The PowerDVD Show	Season 1	E01.MP4, S01E02.MP4, ...
The PowerDVD Show	Season 1	01.MP4, 02.MP4, ...

**注:**ファイル名に追加の文字 (エピソード番号とファイル拡張子の間) がある場合、それらはシリーズ動画ライブラリーには表示されません。

## 動画/画像

[動画/画像] タブを選択して、動画/画像の読み込み元のフォルダーを設定します。ムービーライブラリーセクションに入れないホームムービーやショートクリップなどの動画ファイルを入れることをお勧めします。

### 動画/画像ライブラリー


動画/画像ライブラリーのリストには、対応する動画ファイル/画像の読み込み元のフォルダーが表示されます。対応するファイル形式の一覧は、[「対応するファイルおよびディスク形式」](#)を参照してください。

**注:**これらのフォルダーに新しいメディアが入るとスキャンされ、フォルダーのメディアが追加/削除されると、メディアライブラリーは自動的に更新されます。

動画/画像ライブラリーにフォルダーを追加するには、次の操作を行います。

1. **[動画/画像フォルダーの追加]** ボタンを選択します。

2. 追加するフォルダーを検索します。コンピューターのハード ドライブまたは接続されたネットワーク デバイスから選択します。
3. **[フォルダーの選択]** ボタンを選択して、リストに追加します。
4. 上の手順を繰り返して他のフォルダーを追加します。
5. 次のオプションを選択します。
  - **次未満の画像ファイルを無視する:** ドロップダウンで選択するサイズ未満の画像ファイルを読み込まない場合、このオプションを選択します。
  - **次未満の動画ファイルは無視する:** ドロップダウンで選択するサイズ未満の動画ファイルを読み込まない場合、このオプションを選択します。
6. メディア ライブラリーで未接続のネットワーク デバイス中の動画/画像を表示するには、**[未接続のメディアを再生する]** オプションを選択します。

**注:**動画/画像ライブラリーからフォルダーを削除するには、リストのフォルダーの上にマウスを置いて  を選択します。

## 音楽

**[音楽]** タブを選択して、音声ファイルの読み込み元のフォルダーを設定します。対応する音声ファイルを音楽ライブラリーに読み込めますが、ファイルは [メディアライブラリー] の **[音楽]** タブに読み込まれます。


## 音楽ライブラリー

音楽ライブラリーのリストには、対応する音声の読み込み元のフォルダーが表示されます。対応するファイル形式の一覧は、[「対応するファイルおよびディスク形式」](#) を参照してください。

**注:**これらのフォルダーに新しいメディアが入るとスキャンされ、フォルダーのメディアが追加/削除されると、メディア ライブラリーは自動的に更新されます。

音楽ライブラリーにフォルダーを追加するには、次の操作を行います。

1. **[ミュージック フォルダーの追加]** ボタンを選択します。
2. 追加するフォルダーを検索します。コンピューターのハード ドライブまたは接続されたネットワーク デバイスから選択します。
3. **[フォルダーの選択]** ボタンを選択して、リストに追加します。
4. 上の手順を繰り返して他のフォルダーを追加します。
5. メディア ライブラリーで未接続のネットワーク デバイス中の音楽ファイルを表示するには、**[未接続のメディアを再生する]** オプションを選択します。

**注:**音楽ライブラリーからフォルダーを削除するには、リストのフォルダーの上にマウスを置いて  を選択します。

## 第 3 章:


# PowerDVD でメディアを再生する

CyberLink PowerDVD は、ハイデフィニション コンテンツ、DVD、ムービー ファイル、ホーム ビデオ、オーディオ CD、フォト スライドショー、音楽ファイルなど、各種デジタル メディアの再生が可能です。

## シリーズ動画を再生する

メディア パネルの **[シリーズ動画]** オプションを選択すると、メディア ライブラリーに動画のリストが表示されます。メディア パネルで **[最近再生]** や **[最近追加]** したシリーズ動画のリストを表示することもできます。

シリーズ動画は、タイトル、エピソードで自動的に整理されます。シリーズ動画が正常に表示されない場合、ファイルおよびフォルダー名を更新する必要があります。詳細は、[「シリーズ動画を整理する」](#) を参照してください。


**注:**メディア ライブラリーから特定のシリーズ動画を検索するには、 ボタンを選択します。

ライブラリーを参照時に、各シリーズ動画のエピソード (第～話) の横にアイコンが表示されます。内容は次の通りです。

- - 未再生のエピソード。
- - 途中まで再生されたエピソード。
- - 以前再生されたエピソード。

シリーズ動画のサムネイルを右クリックして **[ファイル保存先]** を選択すると、Windows エクスプローラーでフォルダーの場所が表示されます。**[ディスクから削除]** を選択すると、コンピューターのハード ドライブから削除されます。

再生を開始するには、再生するシリーズ動画を選択します。[VRモード](#)でシリーズ動画を再生するには、右クリックして **[再生先] > [VRヘッドセット]** を選択します。

 **注:** ボタンまたはリモコンの **[戻る]** ボタンを選択すると、再生を停止し CyberLink PowerDVD のメイン ウィンドウに戻ります。

## オート レジューム (続きから再生)

メディア ライブラリーのシリーズ動画を再生中に CyberLink PowerDVD を停止、終了し、その後それらの動画ファイルを再生する場合、前回終了したシーンから再生することができます。


オート レジューム機能により、前回停止したシーンが記録されます。この機能には、次のオプションがあります。

- **[続きから再生]** をクリックすると、前回終了したシーンから再生が始まりません。

シリーズ動画を再生時にダイアログが表示されないようにするには、オートレジュームの設定を無効にします。詳細は、[「全般の設定」](#) の **「オートレジューム (続きから再生) 設定」** セクションを参照してください。

## シリーズ動画の再生コントロール

シリーズ動画を再生中に、プレーヤー コントロールを使って再生をコントロールします。コントロールには、停止、一時停止、早送り、巻戻し、音量調整のボタンがあります。再生を一時停止中にコマ送り/コマ戻しをしたり、ナビゲーションスライダーをタッチ & ドラッグして、シーンを検索したりすることもできます。

 ボタン (またはリモコンのメニュー ボタン) を選択して、次の機能にアクセスします。

- **再生先:**現在のシリーズ動画を他のデバイス/ディスプレイで再生します。詳細は、[「他のディスプレイ/デバイスでメディアを再生する \(再生先\)」](#) を参照してください。



- **音声言語**:利用可能なオーディオストリーム (ダイアログ言語) を選択します。再生可能な言語は、動画ファイルによって異なります。
- **字幕 (主)**:外部字幕ファイルの字幕を有効/無効にします。有効にするには、リストから字幕ファイルを選択します。外部字幕ファイルを読み込むには、**[読み込み]** を選択します。詳細は、[「外部字幕ファイルを読み込む」](#) を参照してください。

**注:[設定]** オプションを選択して、表示スタイルや他の外部字幕を変更します。詳細は、[PC モード] ヘルプの [字幕設定] のセクションを参照してください。

- **字幕 (副)**:外部字幕ファイルの字幕 (副) を有効にしたり、オフにしたりします。字幕 (副) は、デフォルトの字幕 (主) と同時に表示されます。有効にするには、リストから字幕ファイルを選択します。外部字幕ファイルを読み込むには、**[読み込み]** を選択します。詳細は、[「外部字幕ファイルを読み込む」](#) を参照してください。
- **チャプター**:シリーズ動画のチャプターを表示したり、ジャンプしたりします。
- **3D 設定**:3D ソース形式や 3D ディスプレイなどを設定します。詳細は、[「3D 再生」](#) を参照してください。
- **360° 映写形式の設定**:360° のメディアファイルを再生しても検出されない場合、360° 映写形式を手動で設定します。詳細は、[「360° 映写形式を設定する」](#) を参照してください。
- **その他設定**:再生中に [「PowerDVD の設定」](#) にアクセスして、変更を行います。



ボタンを選択して、TrueTheater エンハンスメントを有効にします。TrueTheater は、メディアを高品質で再生するための CyberLink 独自の映像・音声技術です。詳細は、[「TrueTheater エンハンスメント」](#) を参照してください。

ウルトラワイドの 21:9 モニターで再生中に  ボタンをクリックすると、端の黒帯部分がクロップされて枠内に表示されます。標準の 16:9 モニターの場合も拡大表示されます。元の縦横比に戻すには、 をクリックします。

## ムービー ファイルを再生する


メディア パネルの **[ムービー]** オプションを選択すると、メディア ライブラリーにムービー ファイルのリストが表示されます。メディア パネルで **[最近再生]** や **[最近追加]** したムービーのリストを表示することもできます。

ライブラリーを参照時に、各ムービー ファイルの横にアイコンが表示されます。内容は次の通りです。

- - 未再生のムービー。
- - 途中まで再生されたムービー。
- - 以前再生されたムービー。

ムービー ファイルのサムネイルを右クリックして **[ファイル保存先]** を選択すると、Windows エクスプローラーでフォルダーの場所が表示されます。**[ディスクから削除]** を選択すると、コンピューターのハード ドライブから削除されます。

再生を開始するには、再生するムービー ファイルを選択します。[VR モード](#) でムービー ファイルを再生するには、右クリックして **[再生先] > [VR ヘッドセット]** を選択します。

**注:**  ボタンまたはリモコンの **[戻る]** ボタンを選択すると、再生を停止し CyberLink PowerDVD のメイン ウィンドウに戻ります。

## オート レジューム (続きから再生)

メディア ライブラリーのムービー ファイルを再生中に CyberLink PowerDVD を停止、終了し、その後それらの動画ファイルを再生する場合、前回終了したシーンから再生することができます。

オート レジューム機能により、前回停止したシーンが記録されます。この機能には、次のオプションがあります。

- **[続きから再生]** をクリックすると、前回終了したシーンから再生が始まります。



- **[最初から再生]** をクリックすると、ムービー ファイルの最初から再生が始まります。

ムービー ファイルを再生時にダイアログが表示されないようにするには、オートレジェームの設定を無効にします。詳細は、[「全般の設定」](#)の「**オートレジェーム (続きから再生) 設定**」セクションを参照してください。

## ムービー ファイルの再生コントロール

ムービー ファイルを再生中に、プレーヤー コントロールを使って再生をコントロールします。コントロールには、停止、一時停止、早送り、巻戻し、音量調整のボタンがあります。再生を一時停止中にコマ送り/コマ戻しをしたり、ナビゲーション スライダーをタッチ & ドラッグして、シーンを検索したりすることもできます。



ボタン (またはリモコンのメニュー ボタン) を選択して、次の機能にアクセスします。

- **再生先:**現在のムービー ファイルを他のデバイス/ディスプレイで再生します。詳細は、[「他のディスプレイ/デバイスでメディアを再生する \(再生先\)」](#)を参照してください。
- **音声言語:**利用可能なオーディオ ストリーム (ダイアログ言語) を選択します。再生可能な言語は、動画ファイルによって異なります。
- **字幕 (主):**外部字幕ファイルの字幕を有効/無効にします。有効にするには、リストから字幕ファイルを選択します。外部字幕ファイルを読み込むには、[「読み込み」](#)を選択します。詳細は、[「外部字幕ファイルを読み込む」](#)を参照してください。

**注:[設定] オプション**を選択して、表示スタイルや他の外部字幕を変更します。詳細は、[PC モード] ヘルプの [字幕設定] のセクションを参照してください。



- **字幕 (副):**外部字幕ファイルの字幕 (副) を有効にしたり、オフにしたりします。字幕 (副) は、デフォルトの字幕 (主) と同時に表示されます。有効にするには、リストから字幕ファイルを選択します。外部字幕ファイルを読み込

むには、**[読み込み]** を選択します。詳細は、[「外部字幕ファイルを読み込む」](#) を参照してください。

- **3D 設定:**3D ソース形式や 3D ディスプレイなどを設定します。詳細は、[「3D 再生」](#) を参照してください。
- **360° 映写形式の設定:**360° のメディア ファイルを再生しても検出されない場合、360° 映写形式を手動で設定します。詳細は、[「360° 映写形式を設定する」](#) を参照してください。
- **その他設定:**再生中に [「PowerDVD の設定」](#) にアクセスして、変更を行います。




ボタンを選択して、TrueTheater エンハンスメントを有効にします。TrueTheater は、メディアを高品質で再生するための CyberLink 独自の映像・音声技術です。詳細は、[「TrueTheater エンハンスメント」](#) を参照してください。

ウルトラワイドの 21:9 モニターで再生中に  ボタンをクリックすると、端の黒帯部分がクロップされて枠内に表示されます。標準の 16:9 モニターの場合も拡大表示されます。元の縦横比に戻すには、 をクリックします。

## ムービー ディスクを再生する

メディアパネルの **[BD/DVD]** オプションを選択して、ムービーディスク モジュールを開きます。再生を開始するには、ディスクをディスクドライブに挿入して、**[再生]** を選択します。

**注:**  ボタンまたはリモコンの **[戻る]** ボタンを選択すると、再生を停止し CyberLink PowerDVD のメインウィンドウに戻ります。

## オート レジューム (続きから再生)

DVD ディスクの再生中に CyberLink PowerDVD を停止または終了し、その後別のメディアまたはディスクを再生した場合でも、次回元のディスクを再生する際には、前回終了したシーンから再生することができます。

注:ブルーレイ ディスクは、オートレジューム機能には対応してません。

オート レジューム機能により、前回終了したシーンが記録されます。この機能には、次のオプションがあります。

- **[続きから再生]** をクリックすると、前回終了したシーンから再生が始まります。
- **[最初から再生]** をクリックすると、ディスクの最初から再生が始まります。

ディスク挿入時にダイアログが表示されないようにするには、オート レジュームの設定を無効にします。詳細は、[「全般の設定」](#)の「**オート レジューム (続きから再生) 設定**」 セクションを参照してください。

## ムービー ディスクの再生コントロール

ムービーを再生中に、プレーヤー コントロールを使って再生をコントロールします。コントロールには再生の停止、一時停止、早送り/巻戻し、次/前のシーンに移動、音量調整などのボタンがあります。再生を一時停止中にコマ送り/コマ戻しをしたり、ナビゲーション スライダーをタッチ & ドラッグして、シーンを検索したりすることもできます。



ボタン (またはリモコンのメニュー ボタン) を選択して、次の機能にアクセスします。

- **ルート メニュー:**ディスクを再生中にこのオプションを選択すると、ディスクのルートメニューが表示されます。
- **ポップアップ メニュー:**ブルーレイ ディスク\* を再生中に、このオプションを利用することができます。ポップアップメニューを使って、シーン選択や他の機能にアクセスすることができます。
- **音声言語:**再生する音声言語を選択します。再生可能な言語は、ディスク タイトルによって異なります。
- **字幕 (主):**デフォルトの字幕を選択します。通常、字幕 (主) は画面の下部に表示されます。

- **字幕 (副):**デフォルト字幕 (主) と共に表示する字幕 (副) を選択します。通常、字幕 (副) は画面の上部に表示されます。
- **クローズド キャプション:**クローズド キャプションを有効化/無効化します。
- **メニュー/タイトル:**ディスク メニュー/タイトルにアクセスします。ディスク タイトルのデザインによって表示されるメニューは異なります。
- **チャプター:**ディスクのチャプターを表示したり、ジャンプしたりします。
- **ディスクの取り出し:**ムービー ディスクを取り出します。
- **3D 設定:**3D ソース形式や 3D ディスプレイなどを設定します。詳細は、[「3D 再生」](#) を参照してください。
- **その他設定:**再生中に [「PowerDVD の設定」](#) にアクセスして、変更を行います。

**注:**\* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。



ボタンを選択して、TrueTheater エンハンスメントを有効にします。TrueTheater は、メディアを高品質で再生するための CyberLink 独自の映像・音声技術です。詳細は、[「TrueTheater エンハンスメント」](#) を参照してください。

ウルトラ ワイドの 21:9 モニターで 2:35:1 ブルーレイ ムービーを再生中に






ボタンをクリックすると、端の黒帯部分がクロップされて枠内に表示されます。元の縦横比に戻すには、 をクリックします。

## 動画を再生する

メディア パネルの **[動画]** オプションを選択すると、メディア ライブラリーに動画フォルダーのリストが表示されます。メディア パネルで **[最近再生]** や **[最近追加]** した動画ファイルのリストを表示することもできます。

左のボタンを使って、メディア ライブラリー中の動画フォルダーを並べ替えます。


-  - [最近再生] および [すべての動画] で並べ替えます。
-  - 日付で並べ替えます。

**注:**メディア ライブラリーから特定の動画ファイルを検索するには、 ボタンを選択します。

フォルダーを選択して、中のファイルを表示します。ビデオ サムネイルを右クリックして、次のオプションを表示します。

- **3D 形式の変更:**動画ファイルのソース 3D 形式を変更します。詳細は、[\[3D 再生\]](#) を参照してください。
- **左回転:**動画ファイルを左に 90度回転します。
- **右回転:**動画ファイルを右に 90度回転します。
- **ディスクから削除:**コンピューターのハード ドライブから選択したファイルを削除します。
- **ファイル保存先:**ファイルが保存されるフォルダーを Windows のエクスプローラーで表示します。


再生を開始するには、再生する動画ファイルを選択します。[VR モード](#) で動画ファイルを再生するには、右クリックして [再生先] > [VR ヘッドセット] を選択します。

**注:** ボタンまたはリモコンの [戻る] ボタンを選択すると、再生を停止し CyberLink PowerDVD のメイン ウィンドウに戻ります。

## 動画ファイルの再生コントロール

動画ファイルを再生中に、プレーヤー コントロールを使って再生をコントロールします。コントロールには再生の停止、一時停止、早送り/巻戻し、次/前の動画に移動、音量調整などのボタンがあります。再生を一時停止中にコマ送り/コマ戻

しをしたり、ナビゲーション スライダーをタッチ&ドラッグして、シーンを検索したりすることもできます。

 ボタン (またはリモコンのメニュー ボタン) を選択して、次の機能にアクセスします。



- **再生先:**現在の動画を他のデバイス/ディスプレイで再生します。詳細は、[「他のディスプレイ/デバイスでメディアを再生する \(再生先\)」](#) を参照してください。
- **字幕 (主):**外部字幕ファイルの字幕を有効/無効にします。有効にするには、リストから字幕ファイルを選択します。外部字幕ファイルを読み込むには、[\[読み込み\]](#) を選択します。詳細は、[「外部字幕ファイルを読み込む」](#) を参照してください。

**注:[設定]** オプションを選択して、表示スタイルや他の外部字幕を変更します。詳細は、[PC モード] ヘルプの [字幕設定] のセクションを参照してください。

- **字幕 (副):**外部字幕ファイルの字幕 (副) を有効にしたり、オフにしたりします。字幕 (副) は、デフォルトの字幕 (主) と同時に表示されます。有効にするには、リストから字幕ファイルを選択します。外部字幕ファイルを読み込むには、[\[読み込み\]](#) を選択します。詳細は、[「外部字幕ファイルを読み込む」](#) を参照してください。
- **右回転:**再生中の動画を右に 90度回転します。
- **3D 設定:**3D ソース形式や 3D ディスプレイなどを設定します。詳細は、[「3D 再生」](#) を参照してください。
- **360° 映写形式の設定:**360° のメディア ファイルを再生しても検出されない場合、360° 映写形式を手動で設定します。詳細は、[「360° 映写形式を設定する」](#) を参照してください。
- **その他設定:**再生中に [「PowerDVD の設定」](#) にアクセスして、変更を行います。





ボタンを選択して、TrueTheater エンハンスメントを有効にします。TrueTheater は、メディアを高品質で再生するための CyberLink 独自の映像・音声技術です。詳細は、[「TrueTheater エンハンスメント」](#) を参照してください。


ウルトラワイドの 21:9 モニターで再生中に  ボタンをクリックすると、端の黒帯部分がクロップされて枠内に表示されます。標準の 16:9 モニターの場合も拡大表示されます。元の縦横比に戻すには、 をクリックします。

## 画像を表示する

メディアパネルの **[画像]** オプションを選択すると、メディアライブラリーに画像フォルダーのリストが表示されます。メディアパネルで **[最近再生]** や **[最近追加]** した画像ファイルのリストを表示することもできます。

左のボタンを使って、メディアライブラリー中の画像フォルダーを並べ替えます。

-  - **[最近再生]** および **[すべての動画]** で並べ替えます。
-  - 日付で並べ替えます。

**注:**メディアライブラリーから特定の画像を検索するには、 ボタンを選択します。


フォルダーを選択して、中のファイルを表示します。画像ファイルサムネイル (またはリモコンのメニューボタン) を右クリックして、次のオプションを表示します。

- **再生先:**現在の画像を他のデバイス/ディスプレイで表示します。詳細は、[「他のディスプレイ/デバイスでメディアを再生する \(再生先\)」](#) を参照してください。
- **3D 形式の変更:**画像ファイルのソース 3D 形式を変更します。詳細は、[「3D 再生」](#) を参照してください。

- **360° 映写形式の設定:**360° の画像が検出されない場合、360° 映写形式を手動で設定します。詳細は、[「360° 映写形式を設定する」](#)を参照してください。
- **左回転:**画像ファイルを左に 90度回転します。
- **右回転:**画像ファイルを右に 90度回転します。
- **ディスクから削除:**コンピューターのハードドライブから選択したファイルを削除します。
- **ファイル保存先:**ファイルが保存されるフォルダーを Windows のエクスプローラーで表示します。


画像を表示するには、画像を選択します。[VRモード](#)で画像を表示するには、右クリックして **[再生先] > [VRヘッドセット]** を選択します。


[再生] ボタンを選択して、フォルダー中のすべての画像をスライドショーで表示します。

 ボタンまたはリモコンの **[戻る]** ボタンを選択すると、再生を停止し CyberLink PowerDVD のメインウィンドウに戻ります。

## 画像の再生コントロール

画像を表示中にプレーヤー コントロールを使ってフォルダー中の画像を閲覧し、スライドショーの再生をコントロールします。コントロールには再生の停止、一時停止、前後の画像にジャンプ、削除などのボタンがあります。


 ボタンを選択すると、フォルダー中の画像がインスタント サムネイルに表示されます。有効にしてリモコン、マウスのスクロールホイール、キーボードの矢印キーを使うと、フォルダー中のすべての画像を閲覧することができます。

 ボタンを使って、画像ファイルを右に 90 度回転します。







## 音楽を再生する


メディア パネルの **[音楽]** オプションを選択すると、メディア ライブラリーにアルバムのリストが表示されます。メディア パネルで **[最近再生]** や **[最近追加]** した音楽のリストを表示することもできます。

**注:**TV モードでミュージック ディスクを再生することもできます。ディスクドライブにディスクを挿入すると、再生が自動的に開始します。すでにディスクが入っている場合、 を選択し、アルバムトラックを選択して再生します。

左のボタンを使って、メディア ライブラリー中の音楽を並べ替えます。


-  - アルバムで音楽を並べ替えます。
-  - アーティストで音楽を並べ替えます。
-  - 曲で音楽を並べ替えます。
-  - PC モードで作成されたプレイリストを表示します。

**注:**TV モードで再生可能な作成済みプレイリストは、音声ファイルのみです。

-  - メディア ライブラリーから特定の音楽を検索する場合に選択します。

音楽ファイル/アルバム (またはリモコンのメニュー ボタン) を右クリックし、**[再生先]** を選択して他のデバイス/ディスプレイで再生します。詳細は、[「他のディスプレイ/デバイスでメディアを再生する \(再生先\)」](#) を参照してください。**[ファイル保存先]** オプションを選択すると、Windows のエクスプローラーでファイルが保存されるフォルダーが表示されます。**[ディスクから削除]** を選択すると、コンピューターのハード ドライブから削除されます。


再生を開始するには、アルバムから曲を選択します。[VRモード](#)で音楽を再生するには、曲を右クリックして **[再生先]** > **[VRヘッドセット]** を選択します。





**注:**  ボタンまたはリモコンの **[戻る]** ボタンを選択すると、再生を停止し CyberLink PowerDVD のメイン ウィンドウに戻ります。


## 音楽の再生コントロール

音楽を再生中に、プレーヤー コントロールを使って再生をコントロールします。コントロールには再生の停止、一時停止、前後の曲にジャンプ、音量調整などのボタンがあります。



 ボタンを選択すると、フォルダーまたはディスク中の音楽がランダムに再生されます。

再生中に  ボタンを選択して、 (1 曲リピート) または  (フォルダー/ディスク中の全曲をリピート) を選択します。ボタン表示が  の場合、リピート機能はオフになります。

音楽を再生中に  ボタンをクリックすると、オーディオ イコライザー プリセットが表示され、音声の変更ができます。

## マイ コンピューターのメディアを再生する


メディア パネルの **[マイ コンピューター]** オプションを選択すると、コンピューターのハード ドライブ、接続された USB デバイス、ネットワーク ドライブ、インストールされたクラウド ストレージ サービスなどのすべてのフォルダーを表示することができます。このオプションには Windows エクスプローラーの **[コンピューター]** の内容 (デフォルトの Windows ライブラリー ショートカットを含む)

が表示されます。ここでは、メディア ライブラリーに読み込まれていないメディアにアクセス、再生することができます。

**注:**CyberLink PowerDVD は、Dropbox、Google ドライブ、OneDrive クラウドストレージ サービスに対応しています。クラウドストレージ サービスのデスクトップ アプリがインストール、実行されていることを確認して、PC モードの UI の基本設定で有効にしてください。

メディア ファイルを選択して、再生を開始します。[VR モード](#) でメディアを再生するには、右クリックして **[再生先] > [VR ヘッドセット]** を選択します。

**注:**詳細は、再生するメディア ファイルの種類 (ムービー、動画、画像、音楽など) に合わせて、ヘルプ ファイルの関連するセクションを参照してくだ

さい。 ボタンまたはリモコンの [戻る] ボタンを選択すると、再生を停止し CyberLink PowerDVD のメイン ウィンドウに戻ります。



# サイバーリンク クラウド中のメディアを再生する

メディア パネルから **[サイバーリンク クラウド]** オプションを選択して、サイバーリンク クラウド\* にアップロード、保存されるメディアを表示します。


**注:**\* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。CyberLink PowerDVD の一部のエディションのユーザーは、サイバーリンク クラウド サービスのサブスクリプションを 1 年間無料でご利用いただけます。

左のボタンを使って、サイバー リンク クラウドのメディアを次のようにフィルターにかけます。

-  - サイバーリンク クラウド中の動画ファイルのみを表示します。

-  - サイバーリンク クラウド中の画像のみを表示します。
-  - サイバーリンク クラウド中の音楽のみを表示します。





再生を開始するには、メディア ファイルを選択します。

**注:**詳細は、再生するメディア ファイルの種類（動画、画像、音楽など）に合わせて、ヘルプ ファイルの関連するセクションを参照してください。  ボタンまたはリモコンの [戻る] ボタンを選択すると、再生を停止し CyberLink PowerDVD のメイン ウィンドウに戻ります。

## YouTube の動画を再生する



メディア パネルの [YouTube] オプションを選択すると、CyberLink PowerDVD から直接 YouTube の動画（4K、HDR、360°、ライブ映像を含む）を再生することができます。メディア パネルで [最近再生] した動画のリストを表示することもできます。


左のボタンを使って、YouTube の動画を表示できます。

-  - 人気/再生回数の多い動画。
-  - YouTube の 360° 動画。
-  - YouTube の配信中の動画。
-  - ピン留めした YouTube 動画。これらの動画は、インターネットに接続していない時も再生が可能です。


**注:**次のオプションを表示するには、YouTube に [サインイン] する必要があります。


-  - YouTube のプレイリスト。

-  - YouTube の登録チャンネル。
-  - YouTube にアップロードした動画。

**注:**YouTube の動画を検索するには、 ボタンを選択します。


YouTube 動画のサムネイルを右クリックし、**[ピン留め]** を選択して動画の画質を選択します。これらの動画は、インターネットに接続していない時も再生が可能です。

YouTube の動画を選択して、再生を開始します。[VR モード](#) で YouTube の動画を再生するには、先に VR モードを開いて、再生が開始してから  を選択します。

**注:** ボタンまたはリモコンの **[戻る]** ボタンを選択すると、再生を停止し CyberLink PowerDVD のメイン ウィンドウに戻ります。

## YouTube の再生コントロール

YouTube 動画を再生中に、プレーヤー コントロールを使って再生をコントロールします。コントロールには再生の停止、一時停止、前後の動画にジャンプ、音量調整などのボタンがあります。ナビゲーション スライダーをタッチ & ドラッグして、シーンを検索することもできます。

 ボタンを選択して、次の機能にアクセスします。



**注:**ピン留めした YouTube 動画を再生する場合、[「動画ファイルの再生コントロール」](#) と同様に再生コントロールを使用できます。

- **画質:**YouTube 動画の画質を選択します。表示される画質オプションは、YouTube で表示可能な画質によって異なります。

- **3D 設定:**3D ソース形式や 3D ディスプレイなどを設定します。詳細は、[「3D 再生」](#)を参照してください。
- **360° 映写形式の設定:**YouTube の 360° の動画を再生しても検出されない場合、360° 映写形式を手動で設定します。詳細は、[「360° 映写形式を設定する」](#)を参照してください。
- **その他設定:**再生中に [「PowerDVD の設定」](#) にアクセスして、変更を行います。



ボタンを選択して、TrueTheater エンハンスメントを有効にします。TrueTheater は、YouTube 動画を高品質で再生するための CyberLink 独自の映像・音声技術です。詳細は、[「TrueTheater エンハンスメント」](#)を参照してください。

ウルトラワイドの 21:9 モニターで再生中に  ボタンをクリックすると、端の黒帯部分がクロップされて枠内に表示されます。標準の 16:9 モニターの場合も拡大表示されます。元の縦横比に戻すには、 をクリックします。





を選択して動画をピン留めし、後で再生します。これらの動画は、インターネットに接続していない時も再生が可能です。



## Vimeo の動画を再生する


メディアパネルの **[Vimeo]** オプションを選択すると、CyberLink PowerDVD から直接 Vimeo の動画 (360° の動画を含む) を再生することができます。メディアパネルで **[最近再生]** した動画のリストを表示することもできます。


左のボタンを使って、Vimeo の動画を表示できます。


-  - Vimeo グループからの動画。
-  - Vimeo の 360° 動画。

**注:**次のオプションを表示するには、Vimeo に **[サインイン]** する必要があります。

-  - あなたの Vimeo チャンネル。
-  - 後で再生する動画リスト。


**注:**Vimeo の動画を検索するには、 ボタンを選択します。

Vimeo の動画を選択して、再生を開始します。[VR モード](#) で Vimeo の動画を再生するには、先に VR モードを開いて、再生が開始してから  を選択します。

**注:** ボタンまたはリモコンの [戻る] ボタンを選択すると、再生を停止し CyberLink PowerDVD のメインウィンドウに戻ります。

## Vimeo の再生コントロール

Vimeo 動画を再生中に、プレーヤー コントロールを使って再生をコントロールします。コントロールには再生の停止、一時停止、前後の動画にジャンプ、音量調整などのボタンがあります。ナビゲーションスライダーをタッチ&ドラッグして、シーンを検索することもできます。



 ボタンを選択して、次の機能にアクセスします。

- **画質:**Vimeo 動画の画質を選択します。表示される画質オプションは、Vimeo で表示可能な画質によって異なります。
- **3D 設定:**3D ソース形式や 3D ディスプレイなどを設定します。詳細は、[「3D 再生」](#) を参照してください。

- **360° 映写形式の設定:**Vimeo の 360° の動画を再生しても検出されない場合、360° 映写形式を手動で設定します。詳細は、[「360° 映写形式を設定する」](#)を参照してください。
- **その他設定:**再生中に [「PowerDVD の設定」](#) にアクセスして、変更を行います。



ボタンを選択して、TrueTheater エンハンスメントを有効にします。TrueTheater は、Vimeo 動画を高品質で再生するための CyberLink 独自の映像・音声技術です。詳細は、[「TrueTheater エンハンスメント」](#)を参照してください。

ウルトラワイドの 21:9 モニターで再生中に  ボタンをクリックすると、端の黒帯部分がクロップされて枠内に表示されます。標準の 16:9 モニターの場合も拡大表示されます。元の縦横比に戻すには、 をクリックします。



## 第 4 章:

# 再生機能

TV モードでこれらの再生機能を使うと、高品質なメディアを再生できます。

## TrueTheater エンハンスメント



ボタンをクリックすると、次の [TrueTheater] オプションが表示されます。TrueTheater は、メディアを高品質で再生するための CyberLink 独自の映像・音声技術です。

- **ビデオ エンハンスメント:** [ビデオ エンハンスメント] の適用量を選択して、動画を高画質で再生します。TrueTheater ビデオ エンハンスメントにより、動画の明るさ、コントラスト、色彩が補正され、より鮮明に表示されます。また、動画がさらにシャープに表示され、動画のダイナミックレンジも HDR で表示されます (システムおよびディスプレイが対応する場合)。TrueTheater を適用しないようにするには、[0% - オリジナル] オプションを選択します。

**注:**動画の解像度が 720p を超える場合、50% 以上を選択します。

- **オーディオ エンハンスメント:** [オーディオ エンハンスメント] の適用量を選択して、音声を高音質で再生します。TrueTheater オーディオ エンハンスメントにより音声が増幅し、低音と会話の音量が拡大します。TrueTheater を適用しないようにするには、[元の音声] オプションを選択します。

## TrueTheater が利用できない環境

再生中に TrueTheater エンハンスメントが利用できない環境は次の通りです。

**注:**TrueTheater エンハンスメントを適用中は、ハードウェアの設定内容によっては、30 FPS を超えるフレームレートの動画は 30 FPS に制限される可能性があります。

- Ultra ブルーレイ、ブルーレイ 3D ディスク、3D 動画ファイル、MOV (alpha PNG) ファイルを再生時は、TrueTheater ビデオ エンハンスメントは利用できません。
- 動画の解像度が 4096×2160\* を超える場合、TrueTheater Lighting、Color、HDR は調整できません。
- 動画の解像度が 1920×1080 を超える場合、TrueTheater HD、Motion、Noise Reduction は調整できません。
- キャスティングの解像度が 1920×1080 を超える場合、TrueTheater HD、Motion、Noise Reduction は調整できません。
- TrueTheater ビデオ エンハンスメントは、DLNA ネットワーク (DTCP-IP) の動画には対応しません。
- TrueTheater HDR は、HDR 動画には対応しません。
- TrueTheater HDR は、ウィンドウ\*\* モードにのみ対応します (グラフィックカードおよびディスプレイに対応する場合)。
- DVD ムービー、360° 動画、3D 動画、動画ファイルの解像度が 4096×2160 を超える場合、TrueTheater HDR は調整できません。
- HDMI 音声出力モードが [\[その他音声設定\]](#) で "デコードされていない" パススルーが外部デバイス オプションのいずれかに設定されている場合、TrueTheater オーディオ エンハンスメントは利用できません。

**注:**\* TrueTheater ビデオ エンハンスメントは、Windows 64 ビットの 4K ビデオにのみ対応します。 \*\* 特定の NVIDIA/Intel/AMD GPU 搭載のコンピューターでのみ、ウィンドウ モードで TrueTheater HDR を実行できません。

## 360° メディアの再生

[PowerDVD のメディアライブラリー](#) に読み込まれた 360° \* 動画ファイルおよび画像 (360° および 3D 360° ) を再生、表示することができます。YouTube および Vimeo の 360° 動画や、空間音声が含まれる 360° 動画を再生することもできます。

**注:**360° メディアは、[VR モード \(バーチャルリアリティ\)](#) からアクセスすると最適に表示されます (対応する VR ヘッドセットを使う場合)。

読み込みが完了すると、360° 動画ファイルが自動的に検出され、左上に [360° ] のロゴが表示されます。

**注:**読み込んだ 360° のメディア ファイルが正常に表示されないことがあります (360° のロゴが表示されない)。通常、360° 正距円筒図法の動画形式が使われていない場合に起こります。この動画形式の出力に関する詳細は、360° カメラの説明書をご覧ください。\* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

## 360° 映写形式を設定する

360° メディア ファイルが未検出であっても、表示可能な形式で出力されている場合、360° 映写形式を手動で設定することができます。間違っても360° ファイルとして検出されたものは、360° モードを無効にすることもできます。

360° 映写形式を設定するには、次の操作を行います。

1. メディア ウィンドウを右クリックして、**[360° ソース映写]** を選択します。
2. 次のいずれかを選択して、360° 映写形式を設定します。
  - **正距円筒図法:**「正距円筒図法」は、360° 動画に使われる標準の投影法で、360° の環境を、長方形の画面上に球状で映し出します。
  - **正距円筒図法 (パック):**「正距円筒図法 (パック)」は、サムネイルを表示時に、上下にコンテンツ (2つのイメージ) が表示されます。
  - **等角キューブマップ:**この投影法を選択すると、キュービック状の映像が表示されます。映像は、全方向に回転できます。

- **3D 等角キューブマップ**:等角キューブマップの形式に、3D 効果がついた形式です。
- **非 360°**:選択したメディア ファイルが 2D コンテンツの場合、このオプションを選択します。

## ■ 360° ビュー モードを変更する

360° メディア ファイルを再生する場合、4 つのビュー モードを使うことができます。

360° ビュー モードを変更するには、次の操作を行います。

1. メディア ウィンドウを右クリックして、**[360° ビュー モード]** を選択します。
2. 次のいずれかを選択して、360° ビュー モードを設定します。
  - **シングル ビュー (デフォルト)**:映像の中心から 360° の環境を表示することができます。マウスをクリック & ドラッグするか、キーボードの矢印キーを使ってポールの位置を変更し、360° の環境を表示します。
  - **前後ビュー**:メインに 360° メディアが表示され、小さいウィンドウに後部の映像が表示されます。小さいウィンドウをクリックすると、その映像に移動します。
  - **三面ビュー**:メインに 360° メディアが表示され、2 つの小さいウィンドウに左右の映像が表示されます。プレビュー ウィンドウをクリックすると、その映像に移動します。
  - **パノラマ ビュー**:360° メディアがパノラマ ビューで一度に表示されません。

## ■ 360° 動画ファイルを再生する

メディア ライブラリーに 360° 動画ファイルが読み込まれていれば、360° ビューアー モードで再生することができます。360° ビューアー モードで 360° 動画ファイルを再生するには、次の操作を行います。

1. メディア ライブラリーから 360° 動画ファイルを選択します。
2. [再生] ボタンをクリックして、再生を開始します。自動的に 360° モードで再生されます。
3. マウスを使う (プレビュー ウィンドウをクリック & ドラッグ) かキーボードの矢印キーを使って、360° の環境を表示します。360° ナビゲーターをクリックして、表示する方向を変更することもできます。

## ■ 360° の写真を表示する

360° の写真をメディア ライブラリーに読み込む方法は、多少異なります。360° ビューアー モードで 360° の写真を表示するには、次の操作を行います。

1. メディア ライブラリー中の 360° の写真ファイルをダブルクリックします。自動的に 360° モードで表示されます。
2. マウスを使う (プレビュー ウィンドウをクリック & ドラッグ) かキーボードの矢印キーを使って、360° の環境を表示します。360° ナビゲーターをクリックして、表示する方向を変更することもできます。

**注:**プレイリストのフォルダーまたはスライドショーのプレイリストから複数の 360° 写真を表示するには、再生ボタンをクリックしてスライドショーを開始します。スライドショーは 360° モードで再生され、表示方向が自動的に切り替わります。

## ■ 360° Vimeo/YouTube 動画を再生する

360° Vimeo / YouTube 動画 (+ ピン留め 360° YouTube 動画) は、360° ビューアー モードで再生することができます。360° ビューアー モードで 360° Vimeo/YouTube 動画を再生するには、次の操作を行います。

- ・ メディア パネルの **[オンライン動画]** セクションの **[Vimeo]** または **[YouTube]** タブを開き、360° 動画を選択します。
- ・ **[再生]** ボタンをクリックして、再生を開始します。自動的に 360° モードで再生されます。
- ・ マウスを使う (プレビュー ウィンドウをクリック & ドラッグ) かキーボードの矢印キーを使って、360° の環境を表示します。360° ナビゲーターをクリックして、表示する方向を変更することもできます。

### ■ 360° ナビゲーター

360° メディアを表示すると、メディア ウィンドウの左上に 360° ナビゲーターが表示されます。映し出される方向がマークで示されます。

360° ナビゲーターをクリックして、他の方向を表示することができます。



### ■ 360° コンテンツを再生中に利用できない機能

360° 動画を再生中に、3D モード、動画の回転、字幕、再生先 (メディアのキャスト、ストリーミングなど) などの機能は利用できません。360° 写真は、回転、共有、印刷、PowerDVD の壁紙として設定できません。

## 3D 再生

CyberLink PowerDVD は、3D ブルーレイ ディスク\*、DVD\*、動画ファイル\*、3D YouTube 動画\* の再生および、JPS、MPO、サイドバイサイド 3D 画像\* の 3D 表示に対応しています。TrueTheater 3D\* を使って 2D ブルーレイ ディスク\*、DVD ムービー、動画ファイル、YouTube 動画を変換することもできます。


**注:**\* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

**3D 再生時の注意:**3D 動画を再生中に頭痛、眩暈、吐き気、目がぼやける、その他の症状を感じた場合は、直ちに動画鑑賞を止め、医者への指示を仰ぐようお勧めします。


3D 再生を開始する前に、3D ソース動画形式が正しいことを確認し、3D ディスプレイを選択します。

3D ソース動画形式を設定するには、 ボタンから [3D 設定] > [3D ソース形式] を選択して、次のいずれかを選択します。

- **自動検出:**3D メディアのソース形式がわからない時にこのアイテムを選択すると、3D メディアの形式が自動的に検出されます。
- **サイドバイサイド形式:**3D コンテンツに 2 つの異なるイメージが左右に配置される場合、このオプションを選択します。2 つのイメージを合わせて、3D 効果が作り出されます。
- **オーバー アンダー形式:**3D コンテンツに 2 つの異なるイメージが上下に配置される場合、このオプションを選択します。2 つのイメージを合わせて、3D 効果が作り出されます。
- **2D 形式:**選択したメディア ファイルが 2D コンテンツの場合、このオプションを選択します。

3D デバイスを選択するには、 ボタンから [3D 設定] > [3D ディスプレイ] を選択します。**自動検出** オプションを選択すると、デバイスが自動的に検出されます。3D ディスプレイが接続されていない場合は、[アナグリフ赤青モード] で

再生されます。アナグリフ 3D メガネ (赤青) を使って 3D コンテンツを視聴することができます。

3D 再生を有効にするには、再生コントロールの  ボタンから **[3D 設定]** を選択して、次のオプションのいずれかを選択します。

- **再生モード (3D 動画)**:すべての 3D メディア (3D ブルーレイ ディスク、DVD、3D 動画ファイル、3D 画像) を自動的に再生します。一度有効にすると自動的に 3D メディアが 3D で再生されるため、毎回 3D 再生を有効にする必要はありません。
- **再生モード (2D 動画)**:すべての 2D メディア (2D ブルーレイ ディスク、DVD、動画ファイル、YouTube 動画) を 3D (TrueTheater 3D を適用) に変換します。一度有効にすると、2D メディアを変換時に毎回 TrueTheater 3D を有効にする必要はありません。

## 外部/埋め込み字幕

Ultra HD ブルーレイ、ブルーレイ ディスク、ムービー ファイル、シリーズ動画、ピン留めした YouTube 動画を再生中に、外部ファイルの字幕を読み込むことができます。MKV 動画ファイルの埋め込み字幕にも対応します。

## 外部字幕ファイルを読み込む


Ultra HD ブルーレイ、ブルーレイ ディスク\*\*、ムービー ファイル、シリーズ動画、ピン留めした YouTube\*\* 動画を再生中に、外部ファイルの字幕を読み込むことができます。CyberLink PowerDVD が対応する外部字幕の形式は次の通りです。ASS, PSB, SSA, SMI, SRT, SUB, VTT。

**注:\*\* Ultra HD ブルーレイおよびブルーレイ ディスクは、ASS および SRT ファイル形式の外部字幕にのみ対応します。**

外部字幕ファイルを読み込むには、次の操作を行います。





**注:**再生中に字幕ファイルを CyberLink PowerDVD のユーザー インターフェイスにドラッグ&ドロップして、読み込むこともできます。

1. 再生中に  ボタンをクリックして、[字幕 (主) > 読み込み] または [字幕 (副) > 読み込み] を選択します。
2. ダイアログから読み込む字幕ファイルを検索、選択します。
3. [開く] ボタンをクリックして、字幕ファイルを読み込みます。

**注:**再生中のシリーズ動画/ムービー ファイルと同じディレクトリーにある他の対応字幕ファイルも自動的に読み込まれます。最大 10 個の字幕ファイルを読み込みますが、再生中は最大 2 つの字幕のみが表示されます。

## 字幕の表示/変更

再生中に読み込み/埋め込み字幕を表示/変更するには、次の操作を行います。


1.  ボタンをクリック (またはメディア ウィンドウを右クリックしてエクスプレスメニューを表示) します。
2. [字幕 (主)] または [字幕 (副)] を選択して、希望の字幕言語を選択します。希望の字幕がない場合、字幕ファイルを読み込む必要があります。詳細は、[「外部字幕ファイルを読み込む」](#) を参照してください。
3. 字幕を非表示にするには、 ボタンをクリック (またはメディア ウィンドウを右クリック) して [字幕 (主) > オフ] または [字幕 (副) > オフ] を選択します。

## 第 5 章:

# PowerDVD の設定

この章では、TV モードの設定について説明します。メディア パネルの **[設定]** オプションを選択します。

**注:**PC モードはさらに広範囲の設定が可能で、そちらで行った設定内容は

TV モードにも反映されます。希望の設定が見つからない場合、 ボタンをクリックして PC モードに切り替えることをお勧めします。

## 全般の設定

**[全般]** 設定では、次のオプションを設定できます。

### UI 言語

**[UI 言語]** オプションでは、ユーザー インターフェイスの言語を設定できます。ドロップダウンから、使用する言語を選択します。コンピューター システムと同じ言語にするには、**[システム デフォルト]** を選択します。

### プレーヤー オプション

- **Windows を起動時に PowerDVD を自動起動する:**コンピューターを起動すると、自動的に CyberLink PowerDVD が起動します。

### オート レジューム (続きから再生) 設定

**[オート レジューム (続きから再生) 設定]** オプションで、DVD ディスクまたは動画ファイル (ムービー ライブラリー) を開始時に、どこから再生するかを選択します。設定内容をドロップダウン リストから選択します。プロンプト表示をしない場合は、**[ムービーの始めから再生する]** か **[前回の続きから再生する]** を選択します。

## 参照ウィンドウのメディア サイズ

メディアを参照時に表示されるメディア サムネイルのサイズをドロップダウンから選択します。

## メディア ライブラリーの設定

[**フォルダーをメディア ライブラリーに追加**] ボタンを選択して、メディア ライブラリーにメディアを読み込んだり、フォルダーを削除したりします。詳細は、[「メディア ライブラリーにメディアを読み込む」](#)を参照してください。

## UI カスタマイズ

[**壁紙の変更**] ボタンを選択して、PowerDVD の背景の壁紙を設定します。PowerDVD の UI 背景を変更するには、表示されるサムネイルから好みの壁紙を選択します。

[+] ボタンをクリックして [**コンピューターからファイルを選択**] を選択すると、コンピューターから壁紙用の画像を読み込みこむことができます。[**MoovieLive の情報を見る**] オプションを選択すると、MoovieLive から壁紙用の画像をダウンロードすることができます。ダウンロードして .pbgz ファイルをクリックすると、壁紙として表示されます。

[**毎日異なる壁紙を表示**] オプションを選択すると、毎日自動的に壁紙の種類が変わります。利用可能な壁紙がローテーションで表示されます。

壁紙の選択ができたなら、[**OK**] をクリックします。

# 動画の設定

〔動画〕 設定では、次のオプションを設定できます。

## TrueTheater エンハンスメント

- **動画:** [ビデオ エンハンスメント] の適用量を選択して、動画を高画質で再生します。TrueTheater ビデオ エンハンスメントにより、動画の明るさ、コントラスト、色彩が補正され、より鮮明に表示されます。TrueTheater を適用しないようにするには、〔0% - オリジナル〕 オプションを選択します。

注:動画の解像度が 720p を超える場合、50% 以上を選択します。

- **音声:** [オーディオ エンハンスメント] の適用量を選択して、音声を高音質で再生します。TrueTheater オーディオ エンハンスメントにより音声が増幅し、低音と会話の音量が拡大します。TrueTheater を適用しないようにするには、〔元の音声〕 オプションを選択します。

## ハードウェア アクセラレーション

- **可能な場合ハードウェアの映像処理機能を利用して再生する:**このオプションを選択すると、GPU アクセラレーションで動画がデコーディングされ、よりスムーズに再生されます。ブルーレイ/DVD/動画ファイルを再生時にハードウェア アクセラレーションが有効になります (可能な場合)。ハードウェア アクセラレーションが有効になるかどうかは、コンピューターの GPU (Intel、NVIDIA、AMD など) の能力によって異なります。詳細は、GPU のメーカーまたは当社のカスタマー サポート チームまでお問い合わせください。

注:動画ファイル/DVD を再生中に TrueTheater ビデオ エンハンスメントが有効になっていると、ハードウェア アクセラレーションは有効になりません (オプションが有効になっている場合も)。

## 縦横比

このオプションを使って、縦横比 4:3 の映像を 16:9 (あるいはその逆) に変換します。

- **動画の縦横比を維持:**ディスプレイのサイズ(縦横比)を変更しても、縦横比は変わりません。
- **ストレッチを適用する:**動画全体を平均的にストレッチします。ビデオディスプレイとモニターの縦横比が合わないと、歪みが大きくなります。
- **クロップして枠に入れる:**ウルトラワイドの 21:9 モニターで 2:35:1 ブルーレイムービーを再生中にこのオプションを使用すると、端の黒帯部分がクロップされて枠内に表示されます。標準の 16:9 モニターの場合も拡大表示されます。

## 音声の設定

[音声] 設定では、次のオプションを設定できます。

### スピーカー環境

使用しているサウンドカードやスピーカーの数、コンテンツの聴取環境に合わせて、[スピーカー環境] を選択します。

- **[ヘッドフォン]** は、ヘッドフォンを使用して音声を聴くノートパソコンユーザー向けの設定です。
- **[2スピーカー]** は、スピーカーが2つしかないか、サウンドカードが2チャンネル出力のみに対応するデスクトップやラップトップユーザー向けの設定です。
- **[4スピーカー]** は、4チャンネル出力対応のサウンドカードを搭載したコンピューター向けの設定です。
- **[6スピーカー]** (5.1チャンネル) は、6チャンネル出力対応のサウンドカードを搭載したコンピューター向けの設定で、Dolby Digital 5.1 や DTS 5.1 の

ようなマルチチャンネルエンコーディングに対応するDVD動画タイトルに適しています。

- **[8スピーカー]** (7.1チャンネル) オプションは、複数のスピーカーを使用して音声を出力したいユーザー向けの設定です。
- **[S/PDIFを使用]** オプションは高度な技術を使用したデジタルインターフェイス (Digital InterFace) で、ソニーとフィリップス (Sony、Philips) 両社によって考案された規格です (アナログインターフェイスを介した従来型転送信号に対比)。6スピーカーを十分にお楽しみいただくには、外部 Dolby Digital/DTS デコーダーと S/PDIF 互換サウンドカードが必要です。

**注:** S/PDIF 音声出力が有効で、出力ストリームが PCM ではない場合、CyberLink PowerDVD のボリュームコントロールは使用できません (デコーダーがタスクを代行するため)。

- **[HDMI出力]** は、オーディオを HDMI 端子に接続しているユーザー向けの設定です。

## 出力モード

このオプションを使用すると、オーディオ信号で使用される特定の処理を指定できます。利用可能な設定を試して、好みの設定を選択します。

**注:** **[出力モード]** のドロップダウンメニューに表示されるオプションは、**[スピーカー環境]** での選択内容や使用しているコンピューターの設定によって異なります。

### ヘッドフォン出力オプション

スピーカー環境をヘッドフォンに設定する場合、次の出力オプションが利用できません。

- **[TrueTheater Surround]\*** オプションは、ノートパソコンの音声をヘッドフォン出力向けに CyberLink が開発した技術です。

**注:** \* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

## 2 スピーカー出力オプション

2 スピーカーを選択する場合、次の出力オプションが利用できます。

- **TrueTheater Surround\***: は、CyberLink が開発したバーチャル サラウンド技術です。

**注:** \* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

## 4/6/8 スピーカー出力オプション

4、6、8 スピーカーを選択する場合、次の出力オプションが利用できます。

- **TrueTheater Surround\***: CyberLink が開発したオーディオチャンネル拡張技術で、ステレオ オーディオ サウンドを変換して複数のチャンネルに出力します (2 チャンネルの音源を 4、6、7、8 スピーカーに、または 2 チャンネルの音源を 7、8 スピーカーに変換)。

**注:** \* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

## S/PDIF 出力モードを使用する

ブルーレイ ディスクの再生時に、[S/PDIF] がスピーカー環境として選択されている場合、次の出力モードが使用できます。選択するモードは、コンピューターに接続されている外部デコーダー (AV レシーバー) によって異なります。

- **主音声のみ**: このモードでは、主映像の音声のみが出力されます (ピクチャー イン ピクチャー、セカンダリー ビデオ ストリーム、ディレクターズ コメントには音声が付きません)。圧縮された音声は外部デコーダー (AV レシーバー) にパススルーされます。

**注:** 主音声形式が Dolby Digital、DD+、DTS、DTS-HD 以外である場合、両方の音声信号が同時に出力されます。

### HDMI 出力モード

次の出力モードは、外部デコーダー (AV レシーバー) が HDMI 端子に接続されている場合に使用できます。選択するモードは、コンピューターに接続されている外部デコーダー (AV レシーバー) によって異なります。

- **PCM (PowerDVD でデコード):** このモードでは、アナログ信号のデジタル表現を作成します。このオプションは、使用している外部デコーダー (AV レシーバー) が、デジタル音声出力向けに Dolby Digital か DTS に対応していない場合に選択します。
- **デコードされていない Dolby Digital/DTS オーディオを外部デバイスへ:** このモードでは、圧縮された音声が入力された外部デコーダー (AV レシーバー) に渡されます。このオプションは、アンプや受信機が、再生時に Dolby Digital か DTS に対応している場合に選択します。
- **デコードされていないハイデフィニション音声を外部デバイスへ (HDMI 1.3 以上):** このモードでは、ロスレスの音声が入力された外部デコーダー (AV レシーバー) に渡されます。このオプションは、アンプや受信機が、再生時にハイデフィニション音声に対応している場合に選択します。

### ダイナミック レンジ圧縮

このセクションは、Dolby Digital テクノロジーに対応するディスクにのみ対応します。

- 騒がしい環境やノートブック (ラップトップ) で視聴中は、最初のオプションを選択します。このオプションでは、低域のオーディオ信号が増幅され、聴取可能な音量が増します。
- 標準的な環境で視聴中は、2 つ目のオプションを選択します。Dolby Digital 音声スペクトルの極端な範囲にあたる音声エフェクトは圧縮されます。



- 静かな環境で視聴中は、3 つ目のオプションを選択します。聞き取り可能な音はすべて、低周波から高周波まで際立ったものとなり、Dolby Digital のダイナミックレンジをフル活用したものとなります。

## 排他的音声出力 (WASAPI 排他)

**注:** この機能は、次のコーデックの音声を再生時にのみ利用できます。  
ALAC, AAC, AMR-NB, Dolby Digital, Dolby Digital Plus, Dolby TrueHD, DTS, DTS-HD, FLAC, MP3, MPEG Audio, LPCM, WAV, WMA。

- Windows オーディオセッション API (WASAPI) を使用して再生中に他の音声をミュートし、Windows ミキサーを回避して Windows サウンド ミキシングによる音質低下を避ける場合、このオプションを選択します。お使いの音声デバイス (カード/チップ) およびドライバーが対応する場合、音声は高音質になります。選択すると対象の音声は排他的に再生され、コンピューターの他の音声 (ブルーレイ ディスクの副音声を含む) は無音になります。

# ブルーレイ ディスクの設定

[ブルーレイ ディスク] \* 設定では、次のオプションを設定できます。

**注:**\* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

## ブルーレイ リージョン コード

ブルーレイ ディスクのリージョン コードを変更します。

**注:** ディスク ドライブのリージョン コードの変更は、5 回まで行えます。

## 3D の設定

[3D\* の設定] 設定では、次のオプションを設定できます。

**注:**\* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

### 3D 再生オプション

- **3D メディアを 3D で再生:**すべての 3D メディア (3D ブルーレイ ディスク、DVD、3D 動画ファイル、3D 画像) を自動的に再生します。一度有効にすると自動的に 3D メディアが 3D で再生されるため、毎回 3D 再生を有効にする必要はありません。
- **2D メディアを 3D に変換 (TrueTheater 3D):**すべての 2D メディア (2D ブルーレイ ディスク、DVD、動画ファイル、YouTube 動画) を 3D (TrueTheater 3D を適用) に変換します。一度有効にすると、2D メディアを変換時に毎回 TrueTheater 3D を有効にする必要はありません。

### 3D ディスプレイの自動検出

自動的に 3D デバイスを検出します。3D ディスプレイが接続されていない場合は、[アナグリフ赤青モード] で再生されます。アナグリフ 3D メガネ (赤青) を使って 3D コンテンツを視聴することができます。

### 3D ディスプレイ

設定を [無効化] にして、ドロップダウンから 3D ディスプレイを選択します。3D ディスプレイが接続されていない場合は、[アナグリフ赤青モード] を選択します。アナグリフ 3D メガネ (赤青) を使って 3D コンテンツを視聴することができます。

# PowerDVD Remote

[PowerDVD Remote] 設定では、QR コードをスキャンして PowerDVD Remote アプリをダウンロードすることができます。**PowerDVD Remote** は、Android および iOS のスマートフォンをリモコン代わりにして CyberLink PowerDVD 中のメディアを再生するアプリです。

PowerDVD Remote を使うには、先に次の操作を行います。


- CyberLink PowerDVD がインストールされるコンピューターを Wi-Fi ネットワークに接続します。
- PowerDVD Remote がインストールされる Android または iOS デバイスを同じ Wi-Fi ネットワークに接続します。
- **[PowerDVD Remote による PowerDVD の接続、コントロールを許可]** オプションを選択します。

**注:**このオプションを有効にするには、管理者アカウントで Windows にログインする必要があります。ユーザー アカウント制御のダイアログが表示されたら、**[はい]** をクリックします。

- このタブに記載される 4 桁のパスコードを、PowerDVD Remote が実行されるデバイスに入力します。



## 第 6 章:

# 他のディスプレイ/デバイスでメディアを再生する (再生先)

 ボタン (またはリモコンのメニュー ボタン) から **[再生先]** を選択し、メディアを Chromecast、Apple TV、Amazon Fire TV、Roku ストリーミング デバイス (同じ Wi-Fi ネットワークに接続されるもの) で再生します。詳細は、[「ストリーミング デバイスにメディアをキャストする」](#) を参照してください。VR ヘッドセットを使ってメディアを再生することもできます。詳細は、[「VR モード \(バーチャル リアリティ\)」](#) を参照してください。

**注:** PC モードでのみメディアを外部ディスプレイやデジタル メディア レンダラーで再生することができます。

ストリーミング デバイス上のメディアを再生するには、次の操作を行います。

1. メディア ファイルを選択して、再生を開始します。
2. 再生中に  ボタン (またはリモコンのメニュー ボタン) から **[再生先]** を選択して、接続されるデバイスのリストを表示します。
3. リストからメディアを再生するデバイスを選択します。メディアがストリーミングされ、選択したデバイスでメディア再生が開始します。
4.  をクリックすると、メディア ライブラリーに戻ります。

# ストリーミング デバイスにメディアをキャスト する

CyberLink PowerDVD を実行するコンピューターと同じ Wi-Fi ネットワークに接続されるストリーミング デバイスに、次のメディアをキャストすることができます。

**注:** すべてのストリーミング デバイスで最高の互換性を確実にするため、5.1 チャンネル音声以上は、メディアのキャスト中に 2 チャンネルにダウンミックスされます。

- メディア ライブラリー中のムービー ファイル、シリーズ動画、動画。
- メディア ライブラリー中の画像、音楽。
- [マイ コンピューター] タブからアクセス可能なメディア。
- [オンライン動画] タブでピン留めした YouTube 動画。

**注:** ブルーレイ ディスク、DVD、ムービー フォルダー、ISO ファイルはストリーミング デバイスにキャストできません。

これらのストリーミング デバイスは通常テレビに接続されており、デバイスにキャストされたメディアは接続されたテレビで再生されます。対応するストリーミング デバイスは次の通りです。


- **Chromecast:** Google が開発するデジタル メディア プレーヤー。Chromecast に関する詳細は、次の Web サイトをご覧ください。  
<https://www.google.co.jp/chrome/devices/chromecast/>
- **Apple TV:** Apple Inc が開発、販売するデジタル メディア プレーヤー。Apple TV に関する詳細は、次の Web サイトをご覧ください。  
<https://www.apple.com/jp/tv/>

- **Amazon Fire TV:** Amazon が開発するデジタル メディア プレーヤー。Amazon Fire TV に関する詳細は、次の Web サイトをご覧ください。  
<https://www.amazon.com/all-new-amazon-fire-tv-4k-uhd-streaming-media-player/dp/B01N32NCPM>
- **Roku:** Roku が製造するデジタル メディア プレーヤー セットアップ ボックス。Roku プレーヤーに関する詳細は、次の Web サイトをご覧ください。  
<https://www.roku.com/>

**注:** Fire TV または Roku のデバイスに動画をキャストする前に、デバイスのアプリ ストアから PowerDVD のチャンネルをインストールする必要があります。

これらのデバイスのいずれかにメディアをキャストするには、最初に次の操作を行います。

- CyberLink PowerDVD 19 がインストールされるコンピューターをワイヤレス ネットワークに接続します。
- ストリーミング デバイスをオンにして、同じワイヤレス ネットワークに接続します。

これらのタスクが完了して  (再生先) ボタン (またはリモコンのメニュー ボタン) を選択すると、ストリーミング デバイスが表示されます。再生を開始するデバイスを選択します。

**注:** キャストされるメディアの音量は、再生先のデバイス/テレビ側で調整を行います。

## 動画のキャストについて

ストリーミング デバイスに動画をキャストする場合、次の情報をご確認ください。

## 対応する形式

## 他のディスプレイ/デバイスでメディアを再生する (再生先)

動画キャストに対応するファイル形式:

3G2, 3GP, 3GP2, 3GPP, ASF, AVI, DAT, DIV, DIVX, DVR-MS, FLV, M2P, M2T, M2TS\*\*, M4V, MKV\*\*, MOD, MOV, MP4\*\*, MP4V, MPE, MPEG, MPG, MPV, MTS, MVC, QT, TOD, TP, TPD, TRP, TS, TTS, VOB, VRO, WM, WMV, WTV


**注:\*\* H.265 ビデオコーデック (MKV、MP4、M2TS 動画ファイルに対応)。**

## 動画再生オプション

動画をキャスト時に、次の動画再生オプションがご利用いただけます。


**注:Apple TV/Roku のリモコンの一部を使って、再生をコントロールすることもできます。**

## 再生コントロール

再生時に、標準のプレーヤーコントロール (再生、一時停止、停止、前へ、次へ、検索) が表示されます。  ボタンをクリックすると、音声言語を変更、字幕を有効にすることができます。プレーヤーコントロール右の画質メニューをクリックして、ストリーミング動画の画質を選択することもできます。メディアウィンドウを右クリックすると、他のコントロール (シャッフルやリピートなど) も表示されます。

**注:動画キャストに対応する外部字幕ファイル形式:ASS, PSB, SSA, SMI, SRT, SUB。字幕に関する詳細は、[「外部字幕、埋め込み字幕」](#)を参照してください。埋め込み字幕は、ストリーミングデバイスの制限により対応していません。**

## TrueTheater エンハンスメント

再生中に  ボタンを選択すると、TrueTheater ビデオ エンハンスメントが適用されます。TrueTheater は、動画を高品質で再生するための CyberLink 独自の映像・音声技術です。詳細は、[「TrueTheater エンハンスメント」](#) を参照してください。

**注:** TrueTheater Motion、TrueTheater Noise Reduction、TrueTheater Stabilizer は、キャストされる動画には対応していません。  
TrueTheater ディスプレイ モードは、TV モードには対応していません。

## 音声のキャストについて

ストリーミング デバイスに音声をキャストする場合、次の情報をご確認ください。

## 対応する形式





音声キャストに対応するファイル形式:

APE, FLAC, M4A (AAC, ALAC codec), MP3, OGG, WAV

## 音声再生オプション

再生時に、標準のプレーヤー コントロール (再生、一時停止、停止、前へ、次へ) が表示されます。

**注:** Apple TV/Roku のリモコンの一部を使って、再生をコントロールすることもできます。

 をクリックしてランダム再生をしたり、再生中に  (1 曲リピート) または  (すべてリピート) を選択することもできます。ボタンが  のように表示される場合、リピート機能はオフになっています。



## 画像のキャストについて

ストリーミング デバイスに画像をキャストする場合、次の情報をご確認ください。

### 対応する形式

画像キャストに対応するファイル形式:

ARW, BMP, CR2, CRW, DCR, DNG, ERF, JPG, JPEG, JPS, KDC, MEF, MPO, MRW, NEF, ORF, PEF, PNG, RAF, RAW, RW2, SR2, SRF, TIF, TIFF, X3F

### 画像再生オプション

画像をキャスト時に、前へ、次へのプレーヤー コントロールのみが表示されます。

**注:** Apple TV/Roku のリモコンの一部を使って、再生をコントロールすることもできます。



を選択して、インスタント フォト サムネイルを表示し、フォルダー中のすべての画像を参照することもできます。

## 第 7 章:

## PowerDVD のホットキー

このセクションでは、TV モードのホットキーを紹介します。

ホットキー	説明
<b>再生コントロール</b>	
B または [	メディア コンテンツを逆再生します。繰り返し押すと、逆再生の速度が上がります。
E または ,	再生を一時停止すると、コマ戻しされます。連続して押すと、コンテンツがコマ戻しされます。 <b>注:</b> この機能は、一部の動画ファイル形式ではご利用いただけません。
P	プレイリスト/フォルダーの前のチャプター/メディアに戻ります。ミュージック ディスクの前の曲に戻ります。
S	再生を停止します。
スペース バ ー	メディアを再生/一時停止します。
N	プレイリスト/フォルダーの次のチャプター/メディアに移動します。ミュージック ディスクの次の曲に移動します。
F または ]	メディア コンテンツを早送りします。繰り返し押すと、早送りの速度が上がります。
T または .	再生を一時停止し、動画の次のフレームに移動します。繰り返し押すと、メディアがコマ送りされます。
}	メディア コンテンツを遅送りします。繰り返し押すと、遅送りの速度が上がります。
Q	ミュートをオン/オフします。
= または +	音量を上げます。
-	音量を下げます。

Ctrl+R	フォルダー/プレイリスト中のメディア ファイルの 1 つ/すべてを繰り返します。
V	音楽のシャッフルをオン/オフにします。
Ctrl+,	画像/動画を左に 90 度回転します。
Ctrl+.	画像/動画を右に 90 度回転します。
<b>メニュー</b>	
M	DVD を再生中に、DVD メニュー コントロールにアクセスします。ブルーレイ ディスク* を再生中にこのボタンを押すと、ポップアップメニューが表示されます。
Ctrl+P	再生メニューが表示されます。
<b>その他のホットキー</b>	
F1 または ?	PowerDVD ヘルプを開きます。
F5	CyberLink PowerDVD プログラムを最大化します。
F9, F10, F11, F12	リモコンの赤、緑、黄色、青ボタンに対応します。
左矢印キー	UI/メニューの左側に移動します。動画ファイルおよび YouTube/Vimeo の動画を再生中に、8 秒スキップ (巻き戻し) します。
右矢印キー	UI/メニューの右側に移動します。動画ファイルおよび YouTube/Vimeo の動画を再生中に、30 秒スキップ (早送り) します。
上矢印キー	UI/メニューの上に移動します。
下矢印キー	UI/メニューの下に移動します。
Enter	矢印キーでメニューをナビゲート中に選択したオプションを確定します。
Ctrl+C	スナップショットを取得します**。

## CyberLink PowerDVD 19

Ctrl+D	ブルーレイ ディスク ムービーの副音声を有効/無効にします。
Ctrl+E	選択したディスク ドライブから、ディスクを取り出します。
Ctrl+G	PG textST を有効化/無効化します。有効化すると、BD-ROM プレーヤーは、文字の字幕ストリームまたはプレゼンテーション グラフィックスの字幕ストリームを表示します (表示可能な場合)。
Ctrl+K	クローズド キャプションを有効化/無効化します。
Ctrl+N	CyberLink PowerDVD プログラムを最小化します。
Ctrl+U	字幕 (副) を有効化/無効化します。
Ctrl+V	セカンダリー ビデオを有効化/無効化します。
Ctrl+W	動画の再生を一時停止し、メニューがアクティブである場合、再生を再開します。
Ctrl+Y	字幕 (副) の位置を変更します (Read-it-Clearly)。
Esc	アクティブ ダイアログまたはフル スクリーン モードを閉じます。
Ctrl+上矢印 キー	画面の明るさ*** を 5~10% 上げます。
Ctrl+下矢印 キー	画面の明るさ*** を 5~10% 下げます。
A	次のアングルに移動します。
C	スナップショットを取得します**。
D	OSD (オン スクリーン ディスプレイ) の再生詳細をオン/オフに切り替えます。
G	ブックマークに移動します。
H	オーディオ チャンネルを切り替えます。
J	DVD ルート メニューに移動します。
K	カラオケ モードを切り替えます。

L	ディスクメニューに移動します。
W	Say-It-Again を有効にします。
X	[A-B リピート] ダイアログウィンドウを開きます。
Z	フルスクリーンモードを切り替えます。

**注:\*\*** この機能は、ブルーレイディスクタイトルを再生中は利用できません。この機能は、3Dモード、動画の解像度もしくはディスプレイの解像度が 3300 x 1900 を超える場合、ご利用いただけません。**\*\*\*** ディスプレイの能力によって、明るさの調整具合は異なります。CyberLink PowerDVD は、一部のディスプレイの明るさ調整をサポートしていません。

第 8 章:

# ライセンスおよび著作権情報

This section contains the PowerDVD licensing and copyright information. There is also a list of the third-party components used in PowerDVD.

## Dolby Laboratories

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Dolby Audio, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright 1995-2015 Dolby Laboratories. すべての権利は Verance Corporation が保有します。

## DTS

For DTS patents, see <https://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS Digital Surround is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

## DTS-HD

For DTS patents, see <https://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, DTS-HD, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

## Apple Lossless Audio Codec

CyberLink PowerDVD uses Apple Lossless Audio Codec. It's licensed under Apache license. Related files are located in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\ALAC.

## Java

Oracle and Java are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates. Other names may be trademarks of their respective owners.



## BSD License

1/Under BSD license:

Redistribution of source code must retain the following copyright notice and following disclaimer:

Copyright (C) 2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007,2008,2009 Josh Coalson

Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,

DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## Cinavia

### Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia 技術に関する詳細情報は、<https://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

Copyright 2004-2013 Verance Corporation. Cinavia は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。

## Python 27

CyberLink PowerDVD uses Python, related license files are available in C:

¥Program

Files¥CyberLink¥PowerDVD19¥Custom¥Setting¥FreeLicenses¥python27/\* .txt

and in C:¥Program

Files¥CyberLink¥PowerDVD19¥Custom¥Setting¥FreeLicenses¥python27¥from  
\_pydocs¥\*.html.



## Pthreads-win32

Cyberlink H.264 video decoder is a software work uses open-source PThread library (namely PThreadVC2.dll) which is under LGPL (GNU Lesser General Public License).

0. Pthreads-win32 license file only deals with license of PThread library, not including the license of other parts of Cyberlink H.264 video decoder. The Pthreads-win32 license file could be found in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\pthread-win32/copying.html.
1. The PThread library is available at <https://sources.redhat.com/pthreads-win32/>.
2. One copy of LGPL is provided in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\licenses\lgpl-2.1.txt. It is also available at <https://www.gnu.org/copyleft/lesser.html>.

## Intel OpenCV

CyberLink PowerDVD uses Intel Open Source Computer Vision Library. The License Agreement For Open Source Computer Vision Library is in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\opencv\license.txt.

## simplejson

CyberLink PowerDVD uses simplejson. It's licensed under MIT License which is attached in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\simplejson\license.txt.

## CSystemTray

CyberLink PowerDVD uses "CSystemTray" in code project. It's licensed under CPOL license. Related files are located in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\systemtray and C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses/licenses/CPOL.html.

## boost C++ Libraries

CyberLink PowerDVD uses boost C++ Libraries. It's licensed under boost license.

Related file is located in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses/licenses/boost\_license\_1\_0.txt.

## oauth2

CyberLink PowerDVD uses oauth2. It's licensed under MIT License which is attached in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\oauth2\LICENSE.txt.

## httplib2

CyberLink PowerDVD uses httplib2. It's licensed under MIT License which is attached in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses/httplib2\license.txt.

## beautifulsoup

CyberLink PowerDVD uses beautifulsoup. It's licensed under Creative Commons License which is attached in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\beautifulsoup\license.txt.

## socksipy

CyberLink PowerDVD uses socksipy. It's licensed under BSD style License which is attached in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\socksipy\license.txt.

## Monkey's Audio

CyberLink PowerDVD uses "Monkey's Audio" as source filter in code project. The Monkey's Audio license file could be found in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\Monkeys Audio\license.html.

## SQLite3

CyberLink PowerDVD uses "SQLite3" as database engine in code project. The SQLite3 license file could be found in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\licenses\sqlite3\_copyright-release.html.

## rapidjson

CyberLink PowerDVD uses rapidjson. It's licensed under MIT License which is attached in C:\Program

## CyberLink PowerDVD 19

Files¥CyberLink¥PowerDVD19¥Custom¥Setting¥FreeLicenses¥licenses¥license\_rapidjson.txt.

## 第 9 章:

# テクニカル サポート

この章では、テクニカル サポートについて説明します。ユーザーが回答を見つけるために役立つ情報が含まれています。ご購入の代理店、販売店にお問い合わせいただくこともできます。

## テクニカル サポートにお問い合わせになる前に

テクニカル サポートにお問い合わせいただく前に、次のサポート オプション内容をご確認ください(無料)。

- プログラムに組み込まれている「ユーザーガイド」または「オンラインヘルプ」を参照する。
- CyberLink Web サイトの FAQ を参照する。  
<https://jp.cyberlink.com/support/search-product-result.do>
- このドキュメントの「[ヘルプリソース](#)」ページを参照する。

テクニカル サポートにメールまたは電話で連絡する際には、次の情報をあらかじめご用意ください。

- 登録済み **プロダクト キー** (プロダクト キーは、ソフトウェア ディスク ケース、ボックス カバー、または CyberLink ストアで製品購入時に受け取ったメールに記載されています)。
- 製品名、バージョン、エディション、ビルド番号 (通常、ユーザー インターフェイス上の製品名をクリックすると表示されます)。
- お使いの Windows OS のバージョン。
- システムのハードウェア デバイス (キャプチャー カード、サウンド カード、VGA カード) およびその仕様。システム情報を DxDiag.txt で出力し、添付する。

注:システム情報を DxDiag.txt ファイルで出力するには、Windows (スタート) ボタンをクリックし、"dxdiag" を検索します。[情報をすべて保存] ボタンをクリックして、DxDiag.txt ファイルを保存します。

- 表示された警告メッセージの内容 (メッセージの内容はメモするか、スクリーンショットをとっておいてください)。
- トラブルの詳細な内容と、発生した状況。

## Web サポート

CyberLink の Web サポートは、24 時間いつでも無料でご利用いただけます。

注:CyberLink の Web サポートをご利用いただくには、まずメンバー登録を行う必要があります。

CyberLink では、FAQ を始めとしたさまざまな Web サポート オプションを、次の言語で提供しています。

言語	Web サポート URL
英語	<a href="https://www.cyberlink.com/cs-help">https://www.cyberlink.com/cs-help</a>
中国語 (繁体字)	<a href="https://tw.cyberlink.com/cs-help">https://tw.cyberlink.com/cs-help</a>
日本語	<a href="https://jp.cyberlink.com/cs-help">https://jp.cyberlink.com/cs-help</a>
スペイン語	<a href="https://es.cyberlink.com/cs-help">https://es.cyberlink.com/cs-help</a>
韓国語	<a href="https://kr.cyberlink.com/cs-help">https://kr.cyberlink.com/cs-help</a>
中国語 (簡体字)	<a href="https://cn.cyberlink.com/cs-help">https://cn.cyberlink.com/cs-help</a>
ドイツ語	<a href="https://de.cyberlink.com/cs-help">https://de.cyberlink.com/cs-help</a>
フランス語	<a href="https://fr.cyberlink.com/cs-help">https://fr.cyberlink.com/cs-help</a>
イタリア語	<a href="https://it.cyberlink.com/cs-help">https://it.cyberlink.com/cs-help</a>

# ヘルプ リソース

CyberLink 製品をご使用の際、次のヘルプ リソースもご利用いただけます。

- CyberLink の **FAQ** ページ:<https://jp.cyberlink.com/cs-resource>
- ソフトウェアの **ビデオ チュートリアル**  
:<https://directorzone.cyberlink.com/tutorial/>